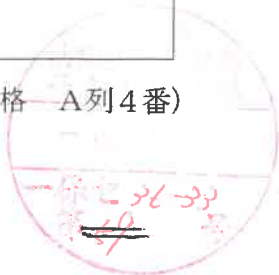


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

<div>産業廃棄物処理計画書</div> <div>令和 6年 6月27日</div> <div>岩手県知事 達 増 拓 也 殿</div> <div>提出者 住 所 岩手県一関市地主町2番29号一関中央ビル102号室 氏 名 朝田建設株式会社 代表取締役 朝 田 豪 電話番号 0191-34-4170</div> <div>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</div>	
事業場の名称	朝田建設株式会社 平泉営業所
事業場の所在地	岩手県西磐井郡平泉町平泉字鈴沢 4 番地の1
計画期間	令和 6年4月1日～令和 7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	土木、建築工事 売上 7億円
③従業員数	47人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>現場発生⇒委託処分</div>

(日本工業規格 A 列 4 番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら	アスファルトがら
	排 出 量	69.67t	328.05 t	189.97 t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら	アスファルトがら
	排 出 量	35.00t	800.00 t	450.00 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用する予定はない			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら	アスファルトがら
	全 処 理 委 託 量	69.67t	328.05 t	189.97 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	69.67 t	328.05 t	189.97t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら再生予定は行っていない ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる 			

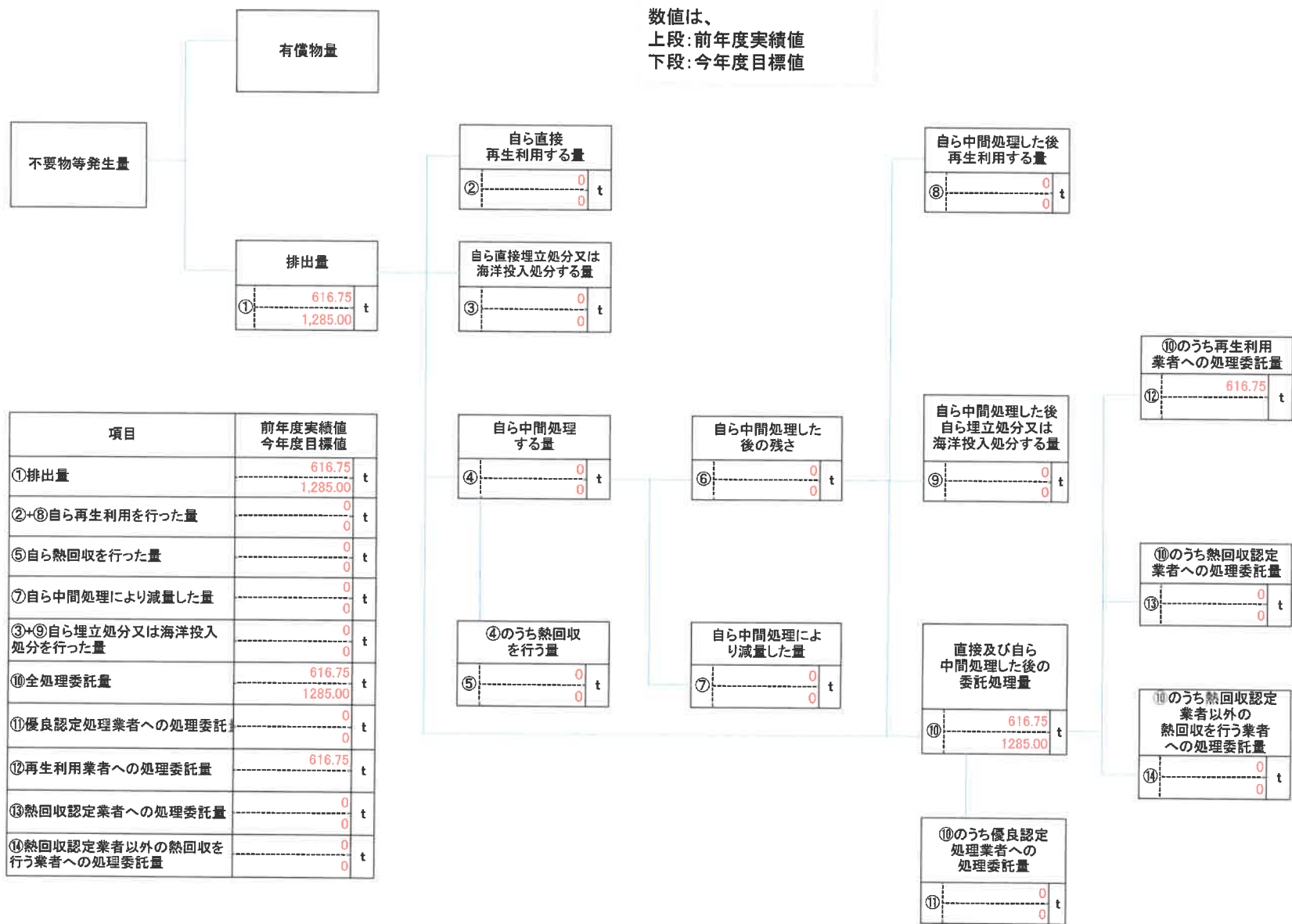
(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら	アスファルトがら
	全 処 理 委 託 量	35.00t	800.00 t	450.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	35.00 t	800.00 t	450.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も自ら再生利用する予定はない。 ・ 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する			
※事務処理欄				

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	328.05	t
	800.00	

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0	t
	0	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	328.05	t
	800.00	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0	t
	0	

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	328.05	800.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	328.05	800.00
⑪優良認定処理業者への処理委託	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	328.05	800.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

自ら中間処理
する量

④	0	t
	0	

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	0	t
	0	

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦	0	t
	0	

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	328.05	t
	800.00	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

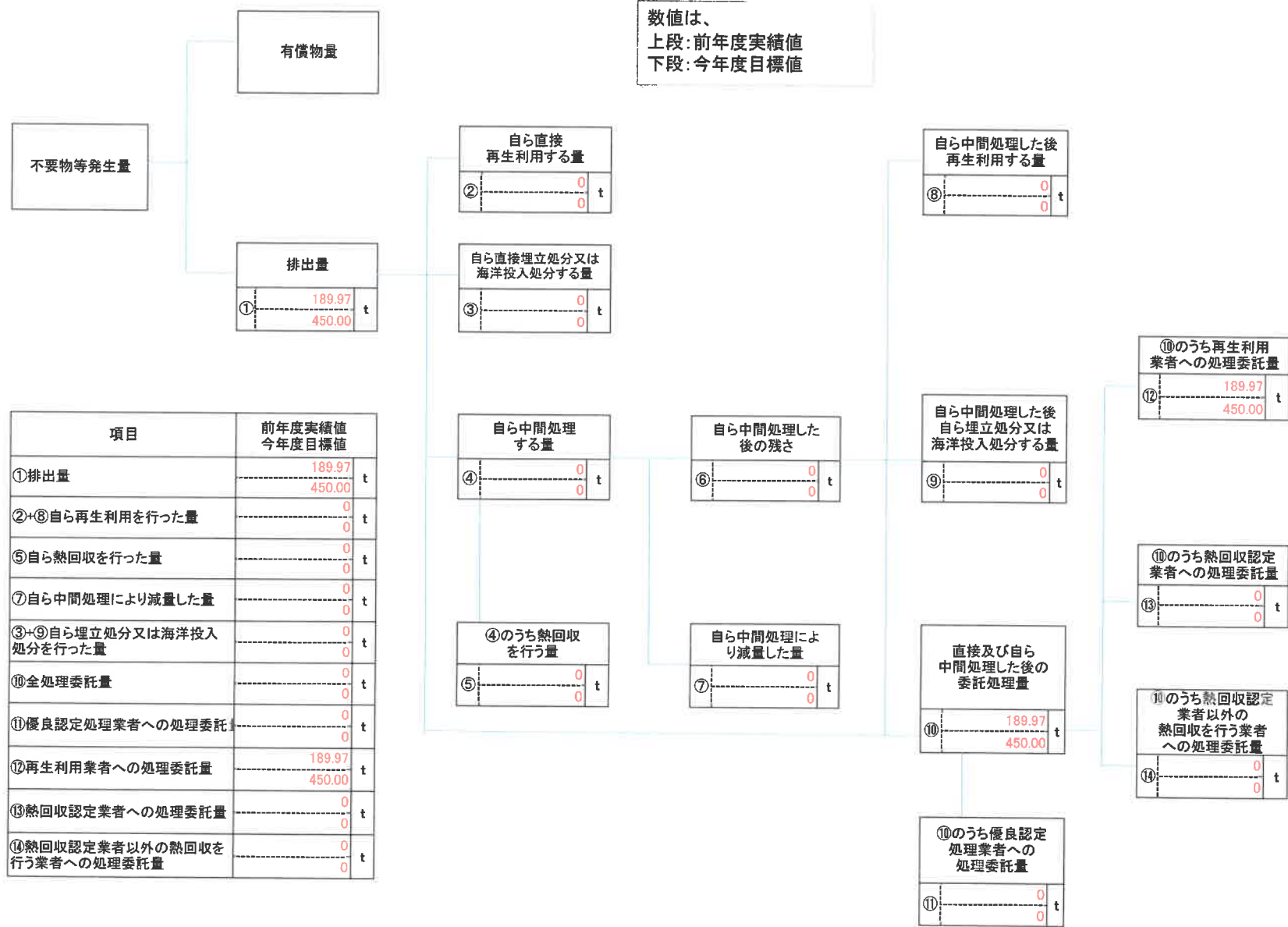
⑪	0	t
	0	

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	69.67	t
	35.00	

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0	t
	0	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	69.67	t
	35.00	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0	t
	0	

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	69.67	35.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	69.67	35.00
⑪優良認定処理業者への処理委託	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	69.67	35.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

自ら中間処理
する量

④	0	t
	0	

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	0	t
	0	

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦	0	t
	0	

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	69.67	t
	35.00	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	0	t
	0	